

海仁グループ 2026 年頭の ご挨拶



医療法人社団 海仁 理事長
海谷眼科 院長
海谷 亮子

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
新しい年が皆様にとって平和で幸多き年に
なりますようお祈り申し上げます。

昨年は、海仁グループにとって大きな節目の年となりました。

当法人 初代理事長 海谷忠良が7月17日に逝去し、同月に私が理事長の責務を引き継ぐこととなりました。

前理事長逝去の際には、患者様、そして関係者の方々より、大変多くのお悔やみや励ましのお言葉を頂戴し、心より御礼申し上げます。皆様からのお言葉は、私達の大きな励みとなりました。

前理事長は、北島三郎さんの「峠」という曲が好きでよく歌っていました。その中の「ここでいいなら頂上だけど、先を見上げりやまだ中半(なかば)」という歌詞を、自分の医師としての人生と重ね合わせ、現状に満足せず常に学び続け前に進んでいく、とよく語っていたことが思い出されます。

「患者様を主体に 海仁の心をもって 患者様のQOV(視力の質)を高め、QOL(人生の質)の向上に貢献する」という当法人の理念を追求する姿勢を見習い、その思いを受け継ぎ、私自身も常に道半ばという気持ちをもって、日々の診療に励みたいと思います。

海谷眼科、かけ川海谷眼科、みどり台海谷眼科は、新しい体制となっても、これまで大切にしてきた理念をスタッフ含め皆で継承し、地域の皆様の目の健康を守るよう努めてまいります。



広報誌:特別号

初代理事長
海谷忠良先生の
原点と歩み



外来配布 & WEB公開中です

海谷眼科の取り組み

海谷眼科におきましては、白内障、緑内障、網膜硝子体、角膜、屈折矯正、小児眼科など様々な分野の専門の先生方と連携しながら、患者様に最適な医療を提供していく体制を継続してまいります。

緑内障は、海仁緑内障センター 山本センター長を中心に、国内失明原因1位である病気に対し、専門的に診断、手術治療を行うとともに、将来に繋がる研究も行っております。

白内障につきましては、単焦点眼内レンズ、多焦点眼内レンズ、必要であれば乱視矯正レンズも積極的に使用し、患者様の術後視機能を少しでも高められるよう取り組んでおります。多焦点眼内レンズにおいては、希望される方も増えてきており、昨年は141件執刀し、眼鏡をかけなくとも生活しやすくなったり、お喜びの声を多数いただきました。

網膜硝子体に関しては、佐野主任医長を中心とした診療体制を取り、早期の治療が必要な網膜剥離といった緊急疾患にも専門の医師が迅速に対応させていただいております。

近年社会問題にもなっている近視ですが、近視進行抑制治療として、オルソケラトロジーや昨年承認された点眼薬も導入し、子どもたちの近視が強くなることで高まる病気のリスクを、減らすことができればと考えております。



海谷眼科 静岡県浜松市中央区助信町20-40
予約専用TEL:053-476-3855

新たな取り組み

本年は、二つの新たな取り組みを行ってまいります。

一つ目は、眼科健康診断(眼科ドック)です。近年アイフレイルという言葉が注目されています。「加齢に伴う変化により目の機能が低下した状態」のことで、40歳をすぎると眼疾患の発症率が高くなると言われています。病気の初期には症状に気付かないことも多いため、症状がなくても定期的に健診を行うことで、早期発見、早期治療につなげ、将来の目の健康、見え方の質、そして生活・人生の質を守ることが可能となりますので、そのサポートができればと思います。

二つ目は、視覚リハビリを視覚障害者支援施設と連携して行ってまいります。見えづらいこと、見えないことに不安を抱えている患者様に対し、治療や補装具の選定だけでなく、ご自身の状態を理解していただき、少しでも生活しやすくするための心理的なサポートを含めた提案ができると考えております。

このように病気の早期発見、早期治療を軸に患者様のQOV(視力の質)を長期に支え、QOL(人生の質)の向上に貢献できるよう、予防・治療・リハビリの視点で患者様に向き合ってまいります。

今年は午年です。「午」は力強く前に進む様子を象徴するとされ、活力と前向きな躍動の年とされています。

これまでの皆様とのつながりを大切にしながら、新しい挑戦を恐れず、前向きに進んでまいります。

本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

YouTube 海谷眼科チャンネル

海谷亮子院長、大城院長、吉田院長の「年頭のご挨拶」を公開中です。ぜひご覧ください。





かけ川海谷眼科 院長 大城 三和子

新たな年の初めを迎え、皆様には健やかにお過ごしのことと、お慶び申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

昨年7月、当法人 海谷忠良理事長が逝去し、その際には非常に多くの患者様から、ご丁寧なご弔意を賜りまして、誠にありがとうございました。

眼科医としての数多くの功績と、大勢の患者様に慕われながら、生涯現役を貫いてこられた姿勢を私も手本とし、今後も精進してまいりたいと思います。

かけ川海谷眼科は、昭和63年6月に開業し、昨年37周年を迎えるました。

当時、掛川市には眼科開業医が1軒しかなく、海谷先生が聖隸浜松病院での勤務のかたわら、この地に立ち上げられました。私が平成2年9月より3代目の院長として就任し、現在に至っております。

平成3年からは東京医科大学眼科学教室からも医師を派遣していただき、現在では難治性の高い、ぶどう膜炎や網膜疾患といった特殊外来にも対応できるようになりました。掛川市においても最先端で最良の医療を提供できるよう体制を構築し続けてまいりました。



かけ川海谷眼科
静岡県掛川市中宿27
予約専用TEL:0537-23-1669

かけ川海谷眼科の取り組み

近年では、近視者の増加が世界的な問題となり、2050年には世界人口の約半数が近視になると予測されております。

当院でも若年者の来院が急増しており、「お子様の将来の目を守るため」点眼治療・オルソケラトロジー・多焦点コンタクトレンズなどといった近視抑制治療を、昨年より開始いたしました。

また、昨年の夏には職場体験講座にも参加し、県内在住の多くの小学生に対し、目について興味を持つもらう機会なども発信してまいりました。

そして、本年は、小笠地区の小・中学校に眼科医が学校医として介入し、お子様の目を早期より守る取り組みの実施が決定しました。当院も参加し、より一層お子様の将来の目を守る事ができるような診療を心掛けてまいります。

今年は、午年です。「うまが合う」といった言葉があるように、受診される患者様が安心して満足いただけるような環境の整備や、職員一人ひとりが気配り・気遣いをもった接遇を意識しながら、精進してまいります。

本年も職員一同、海のように広く深い思いやり、慈しみの心をもった「海仁の精神」を大切に実行し、良い医療が提供できるよう努力してまいります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



みどり台海谷眼科 院長 吉田 真知

旧年中は、多くの方に支えていただき、心より感謝申し上げます。

新しい一年が、皆様にとって健やかで穏やかな日々となるよう願っております。

みどり台海谷眼科では、前院長 海谷忠良先生が急逝され、昨年8月より私が院長を引き継ぐこととなりました。

突然のお知らせとなり、皆様には大きなご心配とご不安をおかけいたしましたが、地域の皆様に支えられながら診療を続けることができること、改めて深く感謝申し上げます。

前院長 海谷忠良先生は、海仁の心(海のように広く深い思いやり、慈しみの心)を大切に、やさしさあふれる診療を続けてこられました。先生が長年にわたり築き上げてこられた、患者様に誠実に向き合う診療姿勢は、みどり台海谷眼科の財産であり、私自身も海仁の心を大切に、日々の診療にあたっております。

当院は、患者様に寄り添い、丁寧で分かりやすい医療を提供するという思いを基盤として発展してまいりました。これからも地域の皆様が安心して通える“かかりつけ眼科”として、さらに質の高い眼科医療を提供できるよう努めてまいります。



みどり台海谷眼科

静岡県浜松市中央区和合町154-36

予約専用TEL:053-476-8814

みどり台海谷眼科の取り組み

昨年より、専門外来の充実にも力を入れており、近視進行抑制治療を本格的に開始いたしました。

日本の子どもの近視は深刻化しており、近視は単に眼鏡が必要になるだけではなく、強度近視へ進行すると、将来的に網膜剥離や緑内障など、失明に至る可能性のある重篤な眼疾患のリスクを高めます。

当院では、低濃度アトロピン点眼薬や、オルソケラトロジーといった医療的介入により、エビデンス(医学的根拠)に基づく近視進行抑制治療に取り組んでおり、既に多くの子どもたちが治療を開始しております。

今後も地域のお子様の目の健康を守るため全力を尽くしてまいります。

白内障や緑内障、網膜硝子体疾患など、より専門的な治療を必要とされる患者様には、海谷眼科との連携を密に、迅速かつ適切な紹介体制を整えております。

みどり台では手術を行っておりませんが、海谷眼科で患者様が最適な医療を受けられるよう、スムーズな診療連携を実現してまいります。

前院長の志を大切にしながら、新たな知識と技術を積極的に取り入れ、地域の皆様の目の健康を支えられるクリニックであり続けたいと考えておりますので、今年も変わらぬご支援、ご愛顧をお願い申し上げます。